

第3回反戦と反権力のための

講演と映画の集い

映画 砂川反戦塹壕行動隊

(製作 星プロダクション)

講演 中島誠 状況報告 日大闘争救援会

／ 市大病院の臨終

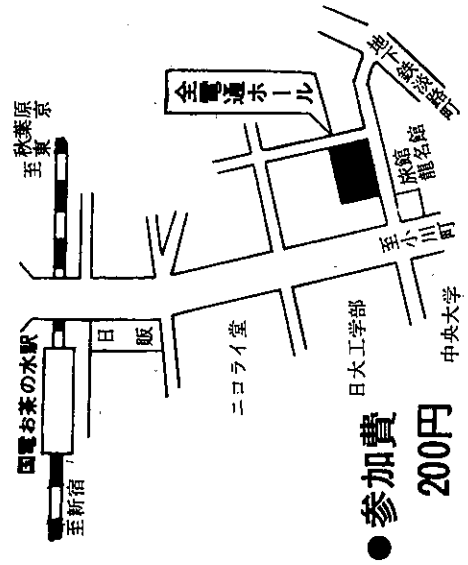
(製作 市大闘争の記録製作実行委員会)

講演 砂川反戦塹壕行動隊・砂川反戦塹壕行動隊・その他

●とき 12月8日(月)

午後6時(開場 5時30分)

●ところ 全電通会館



●参加費 200円

主催 星プロダクション 日大斗争救援会

一九四一年十二月八日、日本帝国主義が、永い中国大陸への総決算をするために、「太平洋戦争」に突入した。この日は、反戦と反権力のための映画と講演の日。

一九四五年八月十五日、日本の国は、東方帝国主義を敗れたようです。しかし、本当は、中国人民、朝鮮人民、負けたことを悟ることのできない日本は、私たちは、平で民主的なはずの一九六九年の現在、日本国内のアメリカ基地で、そして市民的日常生活に欠かすことのできない病院の中で、聞われていることがどんなことであるのかを再確認する必要があるように思います。

ここに商業主義などとは全く無縁の、闘う人民の側について集まったグループの、見せかけの「平和」の内実にとどくメスを入れた映画があります。

「砂川反戦塹壕行動隊」は、流血の砂川から十四年、民が昨一九六八年十二月十九日米軍の立川基地滑走路拡中止をかちとった。それから、基地撤去を目標に追いつ的に設けられた反戦塹壕。それは新たな戦いのはじまりであった。

「市大病院の臨終」は、今年の六月から十一月までの阪市立大学闘争の記録である。

ぜひ、友人、家族の方々とともに、この集いに集まりましょう。そして、反戦の意志をあらわしましょう。

重傷者に
獄中の諸君に

あなたの温い

カンパを！血液を！

重傷者は、いま輸血用の
血液を必要としています。
また今後予想されるきち
がいじみた権力の攻撃に対し
私達は皆さんに、血液銀行への
預金と証書カンパを訴え
ます。さらに、獄中の諸君に
一円でも多くのカンパを！
冬物の衣服のカンパを！

〈カンパ送り先〉

新宿区私書箱六四二二号

日大闘争救援会

(三七九) 一八三七

近日発売！！

獄中記

—異常の日常化のなかで—

秋田明大著

B 6 判上製

予価四九〇円

出版元 全共社

申し込み先日大闘争救援会

『日大から去って行く全ての学友へ
！！ 屈辱感・挫折感を持って日大から
去って行かないでほしい。もし去
って行くなら日大闘争を、ほんの数
時間、数日間でも自己の良心に、人
間性に従い闘ったという勇気と誇り
をもって去って行ってほしい。
そうするならば、君の青春は無駄で
はなからう。私たちは日大が犯罪と
悪の巣窟から再び良心と我々の自由
の雄叫びが復権する日まで闘いつづ
けるだろう。
君たちといつの日かまた、スクラム
を組むことがあるということ信じ
つつ。』

—東京勾置所にて—